第3次小樽市観光基本計画策定委員会（第7回） 会議議事録

日時：2026年9月18日（金）13:00～15:00
場所：小樽市消防庁舎講堂

1. 開会（進行：事務局）
・ 小樽市より開催案内があった。
・ 小樽市より配布資料の確認があった。

2. 議事（進行：委員長）
（1）第6回小樽市観光基本計画策定委員会振り返り【資料1】
・ 事務局より資料1について、各議事の概要をまとめたうえで、提言書案の内容について委員から出された意見に関して説明があった。
・ 質疑等なし。

（2）第3次小樽市観光基本計画提言書案について変更点の説明と内容に関する意見交換【資料2】【資料3】
・ 事務局より資料2、資料3について、第3次小樽市観光基本計画提言書案の変更点の要点をまとめた上で説明があった。

【意見交換】
① 10ページ：宿泊税について
・ 安定財源目的税を戦略的に活用していくとあるが、それらの透明性や市民への使われ方を具体的に表現いただきたい。
② 31ページ：「市民一人ひとりが恩恵を実感し」について
・ 恩恵を実感しという表現は、表現が強いので割愛しても良いのではないか。
・ 市民一人ひとりが恩恵を実感し、という文言は、政府の観光立国推進基本計画の第5次の政策の柱の1つに掲げられている観光振興と住民生活との両立の視点から記載いただいていると認識。表現方法は調整頂くとして、この内容自体は残していただきたい。
③ 33ページ：小樽観光の方向性について
・ 食文化を追加いただいたが、後志エリアが入っているので農産物を列記に追加いただきたい。
・ 食について、寿司やスイーツは小樽の代表的な食の魅力として定着している一方、海産物については将来的な原材料確保に課題が生じる可能性がある。こうした変化を見据え、既存の食の魅力を維持するとともに、新たな食の開発に取り組むことが重

要である。また、それらを担う人材の育成もあわせて進める必要がある点を追記いただきたい。

・ 表現の丁寧さとバランスを加味し、「従来の顧客層を大切にしつつ」を「大切にするとともに」に変更すべきではないか。

・ 提言書案は次回委員会にて第4版を最終確認し、完成予定である。しかし現時点で、映像を通じた魅力発信と潮まつり等のイベントの位置づけがなされていない点が欠けている。これらを33ページの取組方針の前段の文章に盛り込み、真価に紐づける形で反映予定である。（事務局）

④ 34ページ：域内調達率の表現について

・ 域内調達率について、説明を追加し強調しても良いのではないかと考える。

・ 域内が何を指すのかを明確にしていただきたい。

➢ まずは市民の生活向上の効果という点が市の計画である以上最も重要となっている。一方で市内を中心として据えているものの、後志エリアとしての広域連携の観点も含んだ域内として理解いただきたい。（事務局）

⑤ その他

・ イラストについては違和感があり、特に地図については現実と異なる表現が見られるので修正いただきたい。

➢ 提言書案が固まり次第、デザイナーに依頼をし、デザイン含め、体裁を整える予定である。（事務局）

・ 7ページや18ページに見られる文章が長方形の枠で囲われている点について、表記を統一いただきたい。

・ 本計画がどこまで実行力や強制力があるのか、どのような場面で使われていくのかを教えていただきたい。

➢ 観光基本計画は、今後 10 年間における小樽市の観光地づくりの方向性を示すビジョンであり、市や DMO はこのビジョンに基づいて各種施策を推進していく。また、計画内容については、ホームページや広報等を通じて市民への周知を図る。

計画の推進にあたっては、観光部門だけでなく、庁内の全部署が連携して取り組むことが求められており、市全体で共有する指針としての役割も担っている。

財源面では、今年度からは宿泊税も活用して、従来の観光協会への事業費補助金を見直し、「地域 DMO 交付金」として再編することにより、権限とともに責任を付与し、DMO である観光協会が地域の司令塔として主体的に事業を推進できる体制づくりを進めている。観光協会への財政支援としては、昨年度が約 8,000 万円であったのに対し、今年度は約 1.4 億円を交付している。

なお、計画に記載した目指すべき姿や方向性を実現するための具体的な施策や事業については、今後 DMO が策定する観光地経営戦略および実行計画にお

いて整理し、実行段階へと落とし込んでいく予定である。（事務局）

・ 体裁について算用数字一桁は全角、二桁以上が半角となっており、これは小樽市の最上位計画である総合計画の表記にそろえた形となっている。（事務局）

3. 閉会

・ 小樽市より閉会の挨拶があった。

・ 議事録については1週間程度で清書し、委員へ共有を行う。内容に関する意見がある場合は連絡いただきたい。

・ 本日頂いた意見を取りまとめ、次回委員会までに提言書の最終版である第4版を作成する予定である。第8回委員会では、最終版の提言書を中心に議論する予定。10月16日（金曜日）13時より本庁本館第2委員会室にて実施予定。

・ また、提言書手交式が10月28日（水曜日）14時より本庁本館2階市長応接室にて開催予定である。可能な限り出席ありたい。

・ 手交式後、素案をもとにパブリックコメントを1か月実施、その後意見を反映し、体裁を整え、完成する予定となっている。

＜配布資料＞

- 会議次第
- 座席表
- 委員名簿
- 【資料1】第3次小樽市観光基本計画策定委員会（第5回）議事概要
- 【資料2】第3次小樽市観光基本計画提言書案（第3版）
- 【資料3】提言書案（第 2 版）からの変更点

＜出席者＞

委員については名簿の通り

以上